

# 議会だより

第183号

令和7年8月



## 体育祭・運動会を開催!!!

5月24日には乙部中学校にて体育祭が開催され、6月1日に乙部小学校にて運動会が開催されました。

全生徒・児童が元気に楽しく参加している姿が見られました。

- 第2回定例会で審議して決まったこと …… P. 2
- 一般質問 …… P. 5
- 委員会の活動報告 …… P. 10
- 議会のうごき …… P. 12

# 第2回 乙部町議会定例会



## 令和7年度一般会計補正予算などを可決

### 第2回定例会

令和七年第二回乙部町議会定例会が六月十二日に招集され、会期を一日間と決定しました。

今定例会は令和七年度一般会計補正予算などの提出案件が、計十四件あり、いずれも原案のとおり可決しました。

また、一般質問では、田中議員、笹谷議員、増川議員、甲谷議員、安岡議員の五名が町政に関する考えをただし、同日閉会しました。

## 審議して決まったこと

### 補正予算

■令和七年度乙部町一般会計補正予算(第二回)

歳入では、河川整備事業債の追加など、歳出では、緊急自然災害防止対策工事費の追加などを行い、歳入・歳出それぞれ五千二百五十九万円を追加し、総額を五十六億二千五百七十九万円としました。

■令和七年度乙部町水道事業会計補正予算(第一回)

収益的支出では、下水道管応急修繕費で三十万円の追加を行い、総額二億百万二千円としました。

■令和七年度乙部町国民健康保険病院事業会計補正予算(第一回)

資本的支出では、石油給湯機購入事業費で六十六万円の追加を行い、総額二千八百三十一万六千円としました。

### 条例の改正

■乙部町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例

乙部町学校給食センターの移転改築に伴い、その設置場所を現行の位置から新たな所在地へ変更する必要が生じたため条例を改正しました。

### 条例の制定

■乙部町納税貯蓄組合補助金条例の廃止

令和七年度から乙部町自治会町内会活動推進費補助金として一括交付することとなり廃止条例を制定しました。

### 契約の締結

五月二十九日に行われた競争入札の結果を次のとおり議決しました。

■乙部町つくし保育園及び乙部町学校給食センターにおける自立・分散型エネルギー設備導



## 入工事請負契約の締結

- ・契約金額  
一億五千三百四十五万円
- ・契約の相手方  
工藤電気・乙部電気・  
天満電気経常建設共同企  
業体

## 林業生産基盤整備道汐

- 見栄豊線第二工区開設  
工事請負契約の締結
- ・契約金額  
六千六百万円
- ・契約の相手方  
株式会社 大坂建設

## 林業専用道女男沢一号

- 線開設工事請負契約の  
締結
- ・契約金額  
五千二百二十五万円
- ・契約の相手方  
株式会社 明石建設

## 同意

## 乙部町固定資産評価審

- 査委員会委員の選任  
令和七年八月二十九日  
をもって任期満了となる  
乙部町固定資産評価審査  
委員会委員に、再度、橋

本紀夫氏（滝瀬）、庄司  
眞佐樹氏（鳥山）、瀧澤  
富人氏（元和）を選任す  
ることに同意しました。

## 委員会設置

- 先進地行政視察特別委  
員会設置に関する決議  
道内の優れた行政等の  
実態を調査見聞し、今後  
の町政推進の参考とする  
ため、委員会を設置しま  
した。

## 議会改革調査特別委員

- 会に関する決議  
議会改革に関する事項  
について、必要な調査を  
行うことを目的とするた  
め、委員会を設置しまし  
た。

## 議員の派遣

- ・議員の活性化に資する  
ため北海道町村議会議  
長会主催議員研修会へ  
（七月八日～九日）  
・広報誌の編集技術向上

に資するため議会広報  
研修会へ  
（八月十八日～十九日）

## 意見書を採択

- 第二回定例会では、次  
の意見書を可決し、内閣  
総理大臣はじめ、関係省  
庁へ送付しました。  
●ゼロカーボン北海道の  
実現に資する森林・林  
業・木材産業施策の充  
実・強化を求める意見  
書

## 閉会中の継続調査

- 常任委員会の閉会中の  
継続調査の申し出を決定  
したものです。  
●まちづくり常任委員会  
〔調査事件〕  
・乙部町国民健康保険病  
院の電子カルテシステ  
ム導入後の状況につい  
て（現地調査）

## 議会運営委員会

- 〔調査事件〕  
・議会の運営に関する事

## 項

- ・議会の会議規則、委員  
会に関する条例等に関  
する事項  
・議長の諮問等に関する  
事項

## 諸般の報告

第二回定例会において、  
会議に先立ち、議長から  
次の事項について報告が  
なされました。

- ・北海道町村議会議長会  
関係に関する事項
- ・檜山広域行政組合議会  
に関する事項
- ・南部松山衛生処理組合  
議会に関する事項
- ・監査委員からの例月出  
納検査報告
- ・閉会中の事務調査結果  
報告
- ・議会行事報告

## 臨時会を開催

## 令和七年 第二回臨時会

四月二十一日に開催さ  
れ、次の案件を審議し、  
原案のとおり可決しまし  
た。

競争入札の結果を次の  
とおり決議しました。

## 乙部町保育園改築工事

- （建築主体）請負契約  
の締結
- ・契約金額  
七億四千四百七十万円
- ・契約の相手方  
株式会社 林組

## 乙部町保育園改築工事

- （電気設備）請負契約  
の締結
- ・契約金額  
九千二十万円
- ・契約の相手方  
工藤電気・乙部電気・  
天満電気経常建設共同企  
業体

■乙部町保育園改築工事  
(機械設備) 請負契約  
の締結

・契約金額  
一億五千二百三十五万円  
・契約の相手方  
池田・志田・キクチ経  
常建設共同企業体

令和七年  
第三回臨時会

五月二十二日に開催さ  
れ、次の案件を審議し、  
原案のとおり可決しまし  
た。

■令和六年度乙部町一般  
会計補正予算(第十回)

歳入では、地方交付税  
の追加など、歳出では、  
公共施設等整備基金積立  
金の追加などを行い、歳  
入・歳出それぞれ一億三  
千五百五十八万三千円を  
追加し、総額を五十二億  
七千二百一十一万六千円と  
しました。

■令和六年度乙部町国民  
健康保険事業特別会計

補正予算 (第四回)

歳入では、普通交付金  
の減額、歳出では、一般  
被保険者高額療養費の減  
額などを行い、歳入・歳  
出それぞれ十九万六千円  
を減額し、総額を四億二  
千三百四十九万千円とし  
ました。

■乙部町税条例の一部を  
改正する条例

「地方税法及び地方税  
法等の一部を改正する法  
律」及び「地方税法施行  
令及び国有資産等所在市  
町村交付金法施行令の一  
部を改正する政令」並び  
に「地方税法施行規則等  
の一部を改正する省令」  
が公布されたことに伴い、  
条例の一部を改正しまし  
た。

■乙部町国民健康保険税  
条例の税条例の一部を  
改正する条例

「国民健康保険法施行  
令の一部を改正する政  
令」、「地方税法等の一部  
を改正する法律」及び「地

方税法施行令等の一部を  
改正する政令」が公布さ  
れたことに伴い、条例の  
一部を改正しました。

■令和六年度乙部町一般  
会計繰越明許繰越計算  
書について

地方自治法施行令に基  
づき、本臨時会で報告し  
ました。

■令和六年度乙部町下水  
道事業会計予算繰越計  
算書について

地方公営企業法に基づ  
き、本臨時会で報告しま  
した。

■常任委員会委員長及び  
副委員長の選挙につい

て

■議会運営委員会委員の  
選任について

まちづくり常任委員会

委員長



田中 義人

副委員長



澤田 一幸

議会運営委員会

副委員長



笹谷 隆

まちづくり常任委員の正副委員長の選挙、議会運営委員の選任などを審議し、原案どおり可決されました。

# 各議員から一般質問がありました!!

第2回定例会では、田中議員、笹谷議員、増川議員、甲谷議員、安岡議員（提出順）の5名が質問に立ち、町政に対する考え方などを質す、計6項目の質問がありました。

## 質 問

限られた財源を有効活用し、安全安心なインフラ施設整備と将来像について



田中義人 議員

町長は常々、持続可能なまちづくりのため多種補助金制度や財政措置のある地方債を活用し、過度な将来負担とならないよう適切な財政運営に資すると述べられています。急速な高齢化の進展で財政難の構図や課題は自治体が抱える共通的事項であると認識しているところでもあります。

公債比率は高止まり、人件費、扶助費の伸びが大きく、加えて公共施設の維持管理の負担増は、大きな課題であります。少子高齢化が進み人口が減少し、高齢者の一人暮らし世帯が増加しており、我が国は今後、本格的な「多死社会」が到来するとされています。二〇五〇年までに道内で百十七市町村が消滅する可能性があると考え、

公共交通機関や医療・介護という、生きていく上で必要なライフラインが細っていく地域は、今後ますます増え、生活ができる最低の機能を残さなければ、集落は維持できかねるという大変厳しい状況になると思います。

行政サービスを受受できる町の多くの公共施設は高度経済成長期から、築後四十年から五十年余りが経過し、老朽化が進み維持補修や改良について中長期的な整備計画が求められているものと考えます。

インフラ施設の老朽化が要因とされる関東地方で発生した下水道管の損傷事故は関係地域の住民生活に多大な影響をもたらしたことは記憶に新たなところであります。

町民の皆さんが安全安

心して公共施設のサービスを受けることに支障をきたさないために、町は「公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設等の現状を踏まえ、将来を見通し、対処するとされていますが、施設整備計画でのうち簡易水道事業で年間総配水量と年間総有収水量の数値、即ち「有収水率」の直近の数値は乙部地区が六十五・四二パーセント、元和・三ツ谷地区が五十・二八パーセント、豊浜地区が四十一・八四パーセントで三事業の平均値は五十九・五九パーセントとされています。

いずれの数値も効率的な給水状況とは考えられず、老朽化や漏水が要因なのか、施設の全体像を見極め、新規の施設整備は最小限に抑制するなど適切な維持管理で可能な限り、長期間使用した方が効率的なのか、また事業の優先順位をどのように考えているのか町長の考えを伺います。

## 答 弁 者

寺島町長

全国的にも水道及び下水道などの公共インフラにつきましては、高度経済成長時に整備され、耐用年数を超えた水道管及び下水道管の老朽化による破損事案が報道などでも多く聞かれるようになりました。

当町の簡易水道施設については、多くが昭和四十八年から昭和五十二年にかけて整備されており、埋設されている水道管七十一キロメートルのうち三分の一の二十四キロメートルが経営戦略で設定した耐用年数五十年を令和七年度から迎えることとなり、更新需要が生ずる状況にあります。

当町の水道施設は乙部地区、元和・三ツ谷地区、豊浜地区の三か所に整備されており、その中で乙部地区の水源から浄水場までの導水管を令和二年度から令和三年度まで更新改修をしております。



今後につきましては、すでに耐用年数を迎えている三地区の電気計装設備の更新を行い、その後、水道管の更新を順次、実施していく予定であります。

また、簡易水道施設の「有収水率」は田中議員のご指摘のとおり、令和六年度において乙部、元和・三ツ谷、豊浜三地区全体で五十九・六パーセントまで低下しており類似団体の平均値七十一・一パーセントを下回る状況にあり、老朽化した水道管の影響も想定されることから早急に漏水箇所を特定し、修繕していくといたします。

また、下水道につきましては、公共下水道が平成十二年度から、漁業集落排水は平成十八年度から供用開始されており、下水道管は耐用年数に達しておりませんが、現在、ストックマネジメント計画に基づき浄化センターの機械、電気設備の更新を現在、おこなっているところでございます。

簡易水道、下水道両事業は今後、持続可能な事業運営を行うため施設の更新など等比経費の指標となる減価償却費を経費に含める公営企業会計へ令和六年度より移行しており、より正確な経営状況や財政状況を把握し、効率的な運営を推進することとしております。

また、今年度は両事業

とも経営戦略マネジメントの見直しを行い、施設の更新については、相当費用が嵩むため、今後の需要を踏まえ、優先順位を考えるとともに簡易水道及び下水道会計を圧迫させないように事業を平準化した中で、実施していきたいと考えております。

## 質 問

### 一次産業におけるAI活用について



笹谷 隆 議員

現在、さまざまな分野で活用が進んでいるAIですが、当町の基幹産業でもある一次産業においてもその活用事例は増えていきます。

一次産業でAIを活用することは、直面している少子高齢化・人手不足・気候変動・収益性の低下といった課題に対処するために極めて重要であると考えます。

就業者の高齢化、担い手不足は深刻な問題で、

貴重なベテランの経験や

地域特有の有益な情報などの継承にも影響が出て

来るものと考えられます。

AIの活用は、作業の効率化・自動化を進め、省力化・無人化に向けた可能性が広がります。またデータ化することで経験や情報を「見える化」することで継承を実現可能です。

また、それらのデータに基づく判断は、新規に就業を目指す方々にとつ

て有益なものとなると思われます。

AIの活用事例として農業分野では、農作物の収穫時期や品質予測・病害虫の自動検知、林業分野では、伐採計画と資源管理の最適化・労働安全支援、漁業分野では魚群探知と漁場予測・養殖の自動管理などが進められています。

これらのことによるメリットとして、労働力不足の解消、収量と品質の向上、安全性の向上、資源管理の効率化、燃料コスト削減、収益の安定化が考えられます。

このようにAIの活用は、第一次産業を単なる「労働集約型」から「知識・技術集約型」に進化させ、持続可能で魅力的な産業へ変革させる力ギであると考えます。

就業者の高齢化や担い手不足という課題を抱える中、今後当町の一次産業の発展に向けてAIの活用をどのようにお考えか伺います。

## 答 弁 者

### 寺島町長



近年、農業・漁業・林業の第一次産業において労働力の確保と生産性向上と並行して、AI技術の導入が進んでいます。

笹谷議員のご質問にもあるとおり、当町においても担い手不足、気候変動、収益性の低下など様々な問題がある中で、AIの活用は生産性の向上、作業の省力化、品質の安定化を実現する手段として極めて重要であると認識しております。

林業におけるAIの活用につきましては、当町では森林経営基盤整備事業の実施に伴い森林資源

の情報のデータ解析を行い、その解析によって町の森林管理計画づくりの際に現地に赴く前に事前に情報が把握できるなど大いに役に立っているところでございます。

漁業につきましては、大規模漁船や沖合漁船では人工衛星等と連動して水温、海流、漁獲状況がリアルタイムに情報提供されるところであります。が、当町の漁業は浅瀬漁業が中心で漁師の経験や知恵や勘に頼るところはあり、AIと結びつけるにはもう一工夫が必要と思われると思います。

農業につきましては、農作物の収穫時期や品質予測、病害虫の自動検知等が考えられますが、漁業同様にその状況に応じた勘に頼るところがございます。現在、取り組んでいる旧栄浜小学校を活用した北海道大学の研究事業からの展開に期待しているところでございます。

第一次産業につきましては、特に若者の人手不

足による後継者不足が深刻化しており、広大な海や農地等を相手に少人数で全てをみるというのは、マンパワーで補うには限界があります。

さらには、一次産業の場では数値化できないような長年の勘というものがあり、それをどのような

に継承していくかという点が当町の一番の課題であると認識しております。それらを整理し、次世代へ引き継ぎ、一次産業を衰退させないためにも、AI活用は必要不可欠であると考えておりますのでご理解願いたいと思います。

## 質 問

### 道の駅ルート二二九元和台について



増川高志 議員

滝瀬海岸シラフラ展望公園の整備も終わり、給食センター改築工事も二学期から新しい施設で運営されると認識しております。

今後とも町が行う整備事業は、優先順位をしっかりと精査し実行されていくものと思います。

道の駅ルート二二九元和台は、道の駅制度初期に登録されており、平成七年十月の開駅からまもなく三十年がとうとしています。三十年という歳月を重ねる老朽化や役目、

道の駅に対する時代のニーズは変化しているのではないのでしょうか。

旅先で寄った道の駅を体験し、テレビや旅行雑誌等を見て、町民の方々の道の駅への関心も高まってきています。

整備事業の中で道の駅ルート二二九元和台の優先度はどの辺りにいるのか、また、この先の案はございますでしょうか。

町長のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

## 答 弁 者

### 寺島町長

増川議員もご承知のとおり、乙部町の道の駅ルート二二九元和台は道の駅制度早期に事業化され、平成七年十月に開業し、約三十年経過しております。

道の駅周辺には当施設と連動した全国的に珍しい海のプール「元和台海浜公園」、北海道の天然記念物である「鮭の岬」などがございます。

当施設は元和台海浜公園の影響もあり、夏場の来訪者が多く、現在は開業当初よりは減少傾向でございますが、ここ数年では横這いに推移しております。

また、当施設は開業以降、大規模な改修はしておらず、潮風等の影響もあり、老朽化が著しいと認識しております。

他の地域の道の駅を見ますと、その地域の農産物や特産品等の販売、レストランとの併設など

様々で、現在の来訪者のニーズでもあると認識しております。

今後の当施設のあり方につきましては、庁舎内において企画委員会を五月に立ち上げ、道の駅だけではなく、町内の施設全体を総合的に検討しているところでございます。今後とも道の駅のあり方につきましては、皆様の声に耳を傾け、引き続き施設につきましても維持管理を適正に行っていくと考えております。





## 質 問

### 観光資源の有効活用について



甲谷勇介 議員

私達の住むこの北海道は都道府県「観光魅力度ランキング」に於いて十年以上に亘りトップの座を守り続けており、いまや札幌や函館といった都市部だけに限らず、季節に応じた自然豊かな絶景をひとめ目にしようと、多くの方が訪れ賑わいをみせている昨今であります。

しかし、依然として人気観光地の上位は道央圏周辺に占められており、一部ではオーバーツーリズムという新たな課題を抱える自治体も出てきております。

乙部町には、近年注目を集めるシラフラ海岸をはじめ縁桂や元和台の海のプールなど、全国的にも珍しい景勝地を数々有しており、道内主要観光地から檜山地方、そして乙部町へと多くの

方に観光意欲を向けてもらい観光資源としての伸びしろを十分に生かしていくにはこれからどのような戦略が必要とお考えでしょうか。

また、国内はもとより広く海外からも北海道観光へ対しての関心は高まりを見せ、いたるところで海外からの旅行者の姿を目にする機会も増えてきたように感じております。

町といたしましても、こうしたインバウンドによる経済活動にも今後さらに期待を寄せていきたいところでありますが、多言語による情報発信を含めた外国人旅行者受け入れへ向けての現在のインフラの整備状況と将来的な展望についても併せてお伺い致します。



## 答 弁 者

### 寺島町長

乙部町の価値を高め、地域の暮らしに活力を生み出すには観光の振興は欠かせません。そのため、さらなる観光客の呼び込みが必要です。

また、一方で日本各地においてオーバーツーリズムで交通渋滞、ゴミ問題等さまざまな問題が報道で話題となることが多くなってきました。

ご質問の観光客の呼び込む戦略についてでございますが、コロナ禍前の水準まで観光客が回復している札幌や東京で行われる様々なイベントにおいて、物販を通じて来場者に対し、乙部町のチラシ等を配布し、町内のPRを行い、乙部町の認知度の向上に努めております。

また、今年度は町内周遊観光促進事業において景勝地をフットパスコースとし、音声ガイドを生成AIで作成し、景勝地等の案内を二次元コードを利用し、多言語で提供できるように進めているところでございます。

この事業では、ガイド完成後にモニターツアーを実施し、体験したことをSNSで発信してもらうことにより、町のPRとなり乙部町への観光客の呼び込みになるものと考えております。

また、過去におきましては、台湾向け動画配信を行っており、先に述べた生成AIのガイドは日

本語だけではなく、多言語での対応もできることから乙部町に来ていただいた外国人観光客にも乙部町の景勝地等へ足を運んでいただき、それをSNSで発信していただくことにより、外国人観光客の増加につながるものと考えております。

引き続き地域の魅力を生かし、来訪者数の増加に加え、滞在時間の延長や消費課題に向け、また行きたくなる乙部町を目指し、知恵や工夫を凝らしていきたいと考えております。

ご理解のほどよろしくお願いたします。





質 問

- 1 自衛官募集事務に関わる対象者情報  
の提供について
- 2 防災対策と小・中学校体育館にエ  
アコンの設置について



安岡美穂 議員

一点目は、自衛官募集事務に関わる対象者情報の提供についてであります。

町は自衛官採用に関わる事務と自衛官募集のパンフレットを送付のため

対象年齢と言われている十八歳と二十二歳の住民、住所と氏名、性別、生年月日、この四情報を住民基本台帳を基に閲覧ではなく、紙媒体で自衛隊に提供していることが広報おとべで掲載されています。

確かに情報提供希望されない方は、除外申請の手続きをすることで、自衛隊の方に提供しないとしています。個人情報保護法、住民基本台帳法に照らしていかなるものでしょうか。私も中止すべきと考えます。

もしくは対象年齢の方々に個人情報を提供しているか確認してからすべきことと思いますが、その見解を伺いたいと思います。

二点目、防災対策と小・中学校体育館にエアコンの設置についてであります。

六月四日付け各社新聞で日本海沿岸マグニチュード七越えの大地震発生確率は低いとしているが、大きく報道されました。

当町においては、地域防災計画の見直しや日頃住民の避難訓練防災備蓄など整備し備えているつもりだが、必要なことは追加していくことが大事だと思っています。

今年度から町内小・中学校が各一校になりました。

た。各教室へのエアコンの設置は、学校施設環境改善交付金を活用し完了しています。

防災対策の一環として、この際、避難所と指定されている学校の体育館にもエアコンの設置をしてはどうかと思っています。

教育環境整備にもつながっていくと思います。国の方でも推奨していると思うのですが、伺いたいと思います。

答 弁 者

寺 島 町 長

【質問①】

一点目の自衛官候補生の募集に関する事務について、安岡議員もご存知だと思いますが、自衛隊法において都道府県及び市町村が事務の一部を行う法定受託事務であり、また自衛隊法施行令では募集に関する事務として、都道府県及び市町村に対し、報告または資料を求めることができるかとされております。

当町におきましては、

例年七月の広報に紙面に募集事務に係る対象者の情報の提供について、法令等根拠に基づき掲載しており、提供を望まない方に対して除外申請できる旨も周知しております。

また、個人情報保護法、住民基本台帳法におきましても、国の機関もしくは地方公共団体が法令で定める事務を遂行することに対し、必要がある場合は情報の提供が可能となっております。ご理解願いたいと思います。

【質問②】

二点目のご質問につきまして、先日報道のあった日本海沿岸の津波被害想定。

これは平成二十九年度の道による津波浸水想定算の積算数値による最大クラスでの被害想定であり、いづれどこでどのくらいの被害が出る可能性があるかを想定することで、命を守るための行動や被害を減らすための対策を考えるために活用するものとしております。

被害数値も思わぬ数値で発表されましたが、当町で今まで整備してきた避難路などの被害想定算定には反映されておりません。

また、被害を軽減するために日頃から町民皆様の防災意識や地域等での避難訓練、町道・林道等の整備、情報伝達の防災無線やラインでの通知、備蓄品の計画的な整備等これまで積極的に取り組んできており、今年度におきましては、小学校で一日防災学校とし、全学年での避難訓練と防災に関する学習に取り組んでいたいております。

小・中学校体育館にエアコンの整備をとる質問であります。学校につきましては教室にエアコンが設置されていることから、体育館へのエアコン設置につきましては、差し迫った整備とは考えておりません。ご理解願います。

# まちづくり常任委員会の 活動報告 ( 閉 会 中 の 継 続 調 査 )

令和7年5月13日、関係職員の出席を求め、次の各事件について調査しました。  
調査の結果又は概要については次のとおりです。



調査の様子（おとべ荘）

○特別養護老人ホームおとべ荘及びケアセンターの利用状況について（現地調査）  
移設後のおとべ荘は、従来の多床室から従来型個室に変更されたことにより、個人のプライバシーが守られ入所者が快適に生活できるよう配慮されるとともに、見守りシステムの導入により、一元的な入所者の見守りが可能となり職員負担が軽減されるなど、入所者職員ともに移転後の満足度は高く、施設の稼働率についても高水準で推移している。



調査の様子（おとべ荘）

また、国保病院が隣接したことにより急病などの際にも迅速な対応が可能となった。  
ケアセンターについては、通所者に対する適切な介護予防プログラムの実施や介護予防が必要な方への利用促進の取り組みの内容について説明を受けた。

○町有林の森林整備計画及び林道の管理状況について（現地調査）  
町有林の森林整備計画の進捗状況及び林道の管理状況を確認するため現地調査を実施した。  
整備状況については、令和五年度は総事業費二千五百五十五万五千円で、皆伐、人工造林、間伐など総面積四十二・八ヘクタール、令和六年度は総事業費四千四十八万円、総面積七十四・九ヘクタール整備しており、計画に基づき順調に進められていることを確認した。

また、林道管理についても定期的な草刈りや洗掘補修など各林道の実施状況について説明を受けた。



調査の様子（町有林）

これからも計画的に町有林の整備及び林道管理を進めるとともに、民有林についても関係機関と連携し、皆伐や人工造林などの森林整備促進に努められたい。





# 北海道町村議会議員研修会

令和7年7月8日、北海道町村議会議長会が主催する令和七年度北海道町村議会議員研修会が、札幌コンベンションセンターにて開催されました。

後半では、「人口減少社会を生き抜くために」と題して、人口戦略会議副議長の増田寛也氏が講義しました。



研修会では、前半が「地方議会における議員の多彩化にむけて」と題して、西南学院大学教授の勢一智子氏により講演が行われました。

人口減少社会が到来し、地方議会が地域社会の意見を反映する役割を果たす必要性が高まっています。

増加しており、国では広域連携や都道府県の垂直連携等による町村業務の見直しの検討が進められていることや人口減少対策は若者や女性に選ばれ、等について、参加者全員熱心に耳を傾けていました。

## 町政はあなたのために

### — 議会を傍聴しましょう —

- 町議会の定例会は年4回（3・6・9・12月）開会されます。
- 町の臨時会は、必要に応じて随時開会されます。

★★★ 次の定例会は、9月です ★★★



## お 願 い

議会議長宛の文書や案内状などは、議長の日程調整をする必要がありますので、議会事務局に送付するようお願いいたします。

〒043-0103

爾志郡乙部町字緑町388番地  
乙部町議会事務局 宛



## 議会のうごき

- R 7. 4.16 檜山町村議会議長会
- R 7. 4.21 議員全員協議会
- 令和 7 年第 2 回乙部町議会臨時会
- R 7. 5.13 まちづくり常任委員会（閉会中の継続調査）
- R 7. 5.22 まちづくり常任委員協議会
- 令和 7 年第 3 回乙部町議会臨時会
- R 7. 6. 2 檜山地域振興協議会総会
- R 7. 6. 3 まちづくり常任委員会協議会・委員会
- R 7. 6. 4 令和 7 年第 2 回檜山広域行政組合議会臨時会
- R 7. 6. 5 議会運営委員会
- R 7. 6.10 北海道町村議会議長会第 7 6 回定期総会
- R 7. 6.12 令和 7 年第 2 回乙部町議会定例会
- R 7. 6.24 檜山地域振興協議会要望会（函館市・札幌市）
- R 7. 7. 8 北海道町村議会議長会主催議員研修会（札幌市）

### 編集後記

今年は夏祭りや元和台海浜公園「海のプール」のオープンに加え、町制施行六十周年のイベント開催もあり、町内はもちろん町外からもたくさんの方が訪れることが期待されています。夏本番を迎え、暑い日が続いておりませんが、熱中症にならないよう適切な水分補給や無理な運動は控え、体調管理に注意して、乙部の夏を家族や友人たちと満喫しましょう。

今後とも議会の様子を「分かりやすく・読みやすく」をテーマに編集に努めてまいりますので、皆様のご意見等をお聞かせください。

#### 【議会だより編集委員】

委員長 田中義人  
副委員長 澤田一幸  
委員 米坂貞男  
委員 笹谷隆